



2027 年度 入学試験科目と課題曲

目 次

[推薦入学試験]

① 共通試験科目	2
② 専攻別試験科目	2
声乐	2
器楽	2
ピアノ	2
ピアノ演奏家コース	3
ピアノ演奏家コース特別特待奨学生	3
ピアノ・創作コース	4
ヴァイオリン	5
ヴィオラ	6
チェロ	6
コントラバス	6
ハープ	6
クラシックギター	6
フルート	7
オーボエ	7
クラリネット	8
ファゴット	8
サクソフォーン	8
ホルン	9
トランペット	9
トロンボーン	9
チューバ	9
ユーフォニアム	9
アコーディオン	10
打楽器	10
作曲	10
■ 音楽総合コース	11
■ 音楽総合コース・セルフデザインクラス	11

ヴィオラ	15
チェロ	15
コントラバス	15
ハープ	15
クラシックギター	15
フルート	16
オーボエ	16
クラリネット	17
ファゴット	17
サクソフォーン	17
ホルン	18
トランペット	18
トロンボーン	18
チューバ	18
ユーフォニアム	18
アコーディオン	19
打楽器	19

作曲	19
----	----

③ 音楽総合コース	20
④ 音楽総合コース・セルフデザインクラス	21
⑤ 併願の試験科目について	21

[海外帰国子女特別入学試験]・・・22

[外国人特別入学試験]・・・・・・・・24

[一般入学試験]

《第1学年 一般入学試験科目と課題曲》

① 共通試験科目(声乐・器楽・作曲)	12
② 専攻別試験科目	12
声乐	12
器楽	13
ピアノ	13
ピアノ演奏家コース	13
ピアノ・創作コース	13
ヴァイオリン	14

2026年度[第2学年 編入学試験]および[一般入学試験 第2回]は実施しません。

【推薦入学試験】

1 共通試験科目

(声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース、音楽総合コース・セルフデザインクラス)

■作 文

■面 接

2 専攻別試験科目

■声 楽 専 攻

- (1) 『コンコーネ 50 番』の第 5 番～第 20 番までの中から任意の 2 曲を選ぶこと。

その中から当日 1 曲を指定する。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。

※ 指定された以外の調で歌う場合は伴奏譜を出願書類と共に提出すること。

※ 伴奏譜(コピーした楽譜)を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

- (2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を原語で 1 曲。

(オペラのアリアも可。ただしアリアは原調で歌うこと。)

※ 暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜(コピーした楽譜)を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

(移調譜は丁寧かつ誤りのないものであること。)

※ 演奏の途中で打ち切る場合がある。

■器 楽 専 攻

鍵盤楽器

ピ ア ノ

※ 暗譜で演奏すること。

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲(フーガのみ)

- (2) 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の 2 曲(同一作曲家の組み合わせでなくても可)

(イ) チェルニー 50 番(Op.740)

(ロ) クラマー・ビューロー 60 番

(ハ) クレメンティ(タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと)

(ニ) モシュコフスキ『15 の練習曲集』Op.72

(ホ) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25(Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く)、『3 つの新しい練習曲』

- (3) 自由曲(6 分程度。ただし 4 分以上 であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること)

※ (1) (2) (3) の順で演奏すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

ピアノ演奏家コース

※ 暗譜で演奏すること。

次の A 課題または B 課題を選択すること。

A 課題

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）
※ 当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
- (2) 次の（イ）～（ハ）の練習曲集より 2 曲を選択して演奏する。ただしショパンを必ず 1 曲含めること。ショパン 2 曲でも可。
（イ）ショパン『練習曲』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く）
（ロ）モシュコフスキ『15の練習曲集』Op.72
（ハ）モシェレス『24の練習曲集』Op.70（Op.70 No.16、No.20、No.24 を除く）
- (3) 自由曲（**10分以上**であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）
※（1）（2）（3）の順で演奏すること。
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。
※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

B 課題

- 自由曲（**20分以上**であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。
※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

ピアノ演奏家コース 特別特待奨学生

出願書類受理後に一次書類審査を行う。

※書類審査の結果により通常のピアノ演奏家コースでの受験となる場合がある。その場合はピアノ演奏家コースの A 課題または B 課題のどちらかを選択してプログラムを作り、事前に提出すること。

※ 暗譜で演奏すること。

次の（1）～（5）をあわせて **60 分以上**のプログラムを組むこと。

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）
- (2) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25 より任意の 3 曲
- (3) 次の（イ）～（ニ）の練習曲集の中から、任意の 1 曲
（イ）リスト
（ロ）ドビュッシー
（ハ）スクリャービン Op.8、Op.42、Op.65
（ニ）ラフマニノフ Op.33、Op.39
- (4) ベートヴェンのソナタより任意の 1 曲（全楽章）
- (5) 自由曲（ロマン派および近現代の作品から自由選択）
※（1）～（5）の順で演奏すること。
※ 各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。
※ 曲順は当日試験委員が指定する。また、演奏する箇所を指定する場合もある。
※ 受験結果により器楽専攻（ピアノ演奏家コース）に合格となる場合がある。

1. ピアノ課題

※ 暗譜で演奏すること。

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲(プレリュードまたはフーガ)
- (2) 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の1曲を選択すること。
 - (イ) チェルニー 50 番 (Op.740)
 - (ロ) クラマー・ビューロー 60 番
 - (ハ) クレメンティ (タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと)
 - (ニ) モシュコフスキ『15 の練習曲集』 Op.72
 - (ホ) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25 (Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く)、『3 つの新しい練習曲』
- (3) 自由曲(6分程度。ただし、**4 分以上**であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること)

※ (1) (2) (3) の順で演奏すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

2. 創作

自作曲の楽譜を1曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲(1～2分程度)、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

弦楽器

ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』) より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

① 第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。

♩ = 60 以上 (スラーとリズムは下記の C-dur に準ずる)

② 第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♩ = 60 以上 (スラーは 16 分音符 4 個以上とする。1 小節 2 弓でも可。下記の第 6 番参照)



※ 譜例の点線のように 2 拍ずつの場合も可。

(2) 練習曲：クロイツェル、ローデ、ドント、パガニーニなどの練習曲やカプリスの中より任意の 1 曲を演奏する。繰り返しはなしとする。

(3) 任意の協奏曲 1 曲より第 1 楽章 (カデンツァを含む)。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜 (コピーした楽譜) を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

※ 演奏によりヴィオラ演奏に適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。ヴィオラでの入学に同意する受験者は、入学願書の「ヴィオラへの転専攻 (○で囲む)」欄の「同意する」を○で囲むこと。

ヴィオラ

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』) より、任意の長調または短調を選び第 5 番、第 6 番を演奏する。運指、運弓の指定なし

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。

♩ = 60 以上 (スラーとリズムは C-dur に準ずる)

②第 6 番は冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♩ = 60 以上 (スラーは 16 分音符 4 個以上とする)。

(2) 自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜 (コピーした楽譜) を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

※ ヴァイオリンによる受験も可。その場合、出願書類 (受験票) の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

チェロ

(1) 任意の長調、短調、両方の 3 オクターヴの音階 (4 音を一弓で演奏すること)。

(2) 任意のエチュードを 1 曲。

(3) 次の (イ)・(ロ) より 1 つを任意に選択する。

(イ) 任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

(ボエルマン作曲 交響的変奏曲・チャイコフスキー作曲 ロココ変奏曲等を含む)

(ロ) 任意の古典ソナタより第 1 楽章および第 2 楽章

(ただしバッハの無伴奏組曲を除く)

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜 (コピーした楽譜) を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

コントラバス

(1) 任意の調の 2 オクターヴの音階。

(2) 自由曲を 1 曲 (エチュードも可)。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜 (コピーした楽譜) を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

ハープ

(1) ボクサ : 「40 番練習曲」作品 318 から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏はなし。

クラシックギター

(1) カルカッシまたはソルの練習曲の中から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏はなし。

木管楽器

フルート

- (1) 次の音型によって音階および分散和音を演奏すること。

調性、スラーの有無は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。(♩ ≒ 80 ～ 90)



- (2) J. Donjon: Études de Salon から no.1 Elégie (J. ドンジョン『サロンエチュード』から no.1 エレジー)
演奏箇所は当日指定する。
- (3) Carl Stamitz : Concerto G-dur より第 1 楽章
カデンツァは含まない。
演奏箇所は当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

オーボエ

- (1) 音階：次の A、B いずれかの音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) 4 分程度の任意の独奏曲または練習曲。
演奏箇所は当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

クラリネット

- (1) 音階：次の音型によって長音階と旋律短音階を演奏すること。＃♭は3つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) C. Rose : 26 etudes pour la Clarinette (ローズ：26のエチュード) より、No.3～7。演奏箇所は当日指定する。

※ 版は自由。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

ファゴット

- (1) 音階：次の音型によって、長音階と短音階を演奏すること。
＃♭は3つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) Julius Weissenborn : Bassoon Studies op.8 第1巻IIIの中から任意の1曲。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

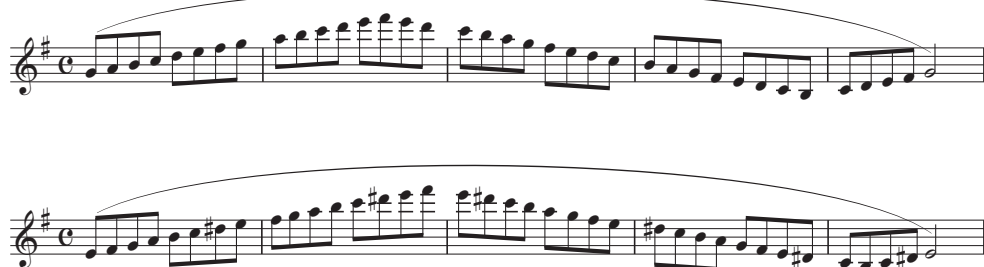
※ 伴奏はなし。

サクソフォーン

アルト・サクソフォーンで演奏すること。

- (1) 音階：長調、短調（和声的短音階）＃♭4つまでの中から、譜例に従い、当日指定された音階をスラーで演奏すること。演奏は暗譜で行うこと（繰り返しはなし）。

音階譜例



- (2) Guy Lacour : 50 Etudes Faciles Et Progressives pour Saxophone (Billaudot 版) 第1巻、第2巻の50曲より任意の2曲を演奏すること。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

※ 伴奏はなし。

金管楽器

《金管楽器共通課題（音階及び分散和音）》

次の例にしたがって演奏すること。（長音階と短音階）

（調性、音域は当日指定。暗譜で演奏すること）



※ 短音階は和声短音階とする。

ホルン

(1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

(2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

トランペット

(1) Dr. Charles Colin : TRUMPET advanced LIP FLEXIBILITIES VOL.1 より第 3 番 (ETUDE No.1)。
演奏は暗譜で行うこと。

(2) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

(3) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 5 番。
The Beautiful Snow の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

トロンボーン

(1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

※ バストロンボーンについては、F-dur（ヘ長調）および f-moll（ヘ短調）とする。

(2) ・テナー・トロンボーン

Vivaldi Sonata No.1 B-dur I.Largo II.Allegro

・バス・トロンボーン

J. E. Galliard Sonata No.1 a-moll I.Cantabile II.Spritoso e staccato V.Vivace

※ 繰り返しなし。暗譜の必要はない。

※ 出版社の指定なし。

※ バス・トロンボーンについては、1 オクターヴ下げて演奏することも可。

※ 伴奏はなし。

チューバ

(1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

(2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

ユーフォニアム

(1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。

(2) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 4 番。
Tyrolean Song の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

気鳴楽器

アコーディオン

- (1) ドメニコ・スカルラッティ『ソナタ』または、J.S. バッハ『インヴェンションとシンフォニア』
BWV 772 ～ BWV 801 より任意の 1 曲
※ 暗譜で演奏すること
- (2) アコーディオンのためのオリジナル作品より任意の 1 曲
※ 暗譜の必要はなし。

打楽器

小太鼓またはマリンバで受験すること（願書の志望専攻名欄に打楽器（小太鼓）、打楽器（マリンバ）のいずれかを記入すること）。

小 太 鼓

- (1) 二つ打
- (2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

マリンバ

- (1) 2 オクターヴの長音階、短音階、分散和音を譜例の音型で演奏すること（調性は当日指定）。

♩=110 ca.

♩=110 ca.

♩=110 ca.

♩=110 ca.

- (2) 任意の独奏曲 1 曲（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

■作 曲 専 攻

- (1) 和声：転調および非和声音を含まないバス課題
- (2) 作曲：与えられた動機による楽曲の創作
※ (1) (2) 合わせて **3 時間**
- (3) 面接：作曲についての簡単な内容

■音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）

実技課題曲

声 楽

(1) (2) の両方から選曲し演奏時間は合計 6 分以内とする。

(1) 『コンコーネ 50 番』より第 1 番～第 10 番までの中から任意の 1 曲を選ぶこと。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

(2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。

※ 暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

ピ ア ノ

自由曲（5 分程度。複数曲可）

※ 暗譜で演奏すること。

※ 複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

弦 楽 器

・ヴァイオリンは自由曲（コンチェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可。

・その他の弦楽器は特に指定なし（自由曲）。

※ 暗譜で演奏すること。

※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

管打楽器（アコーディオンは除く）

いずれの楽器も練習曲を含む自由曲とする。演奏時間は 5 分以内。

※ 暗譜の必要はない。伴奏はなし。

作 曲

(1) 指定された「与えられた動機による楽曲の創作」（3 時間以内）とする。

(2) 面接（作曲についての簡単な内容）

■音楽総合コース・セルフデザインクラス

(1) 自己 PR

自己 PR は当日面接の時に言うか、前日までに動画または PDF で提出すること。

内容については問わない。自らの得意なことや、やってみたいことなどを、自分なりの表現でアピールすること。

(2) 面接

【一般入学試験】

《第 1 学年 一般入学試験科目と課題曲》

* 器楽専攻（ピアノ演奏家コース特別特待奨学生）は募集しません。

1 共通試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

1. 一般学科

(1) 英語 ※ただし、実用英語技能検定準 2 級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。

(2) 国語

2. 楽典

楽典一般

3. 聴音

単旋律聴音（8 小節程度）・・・各専攻共通 2 題

4. コールユーブンゲン

第 1 巻の原書番号 No.24 ～ No.41 の中から当日 1 曲指定する。

※ 移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可。

5. 面接

6. 副科ピアノ

声楽専攻と作曲専攻の志望者のみ

※ 暗譜で演奏すること。

・声楽専攻

ソナチネ程度以上の曲から任意の 1 曲を演奏すること。

(2 つ以上の楽章を合わせても可。繰り返しは自由)

・作曲専攻

J.S. バッハ『三声インヴェンション (シンフォニア)』から任意の 1 曲および自由曲 (自作品は不可)

1 曲を合わせて 2 曲を演奏すること。(2 曲で 5 分以上 10 分以内)

2 専攻別試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

■声楽専攻

(1) 『コンコーネ 50 番』の第 5 番～第 20 番までの中から任意の 2 曲を選ぶこと。

その中から当日 1 曲を指定する。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。

※ 指定された以外の調で歌う場合は伴奏譜を出願書類と共に提出すること。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

(2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。

(オペラのアリアも可。ただしアリアは原調で歌うこと。)

※ 暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

(移調譜は丁寧かつ誤りのないものであること。)

※ 演奏の途中で打ち切る場合がある。

■器 楽 専 攻

鍵盤楽器

ピ ア ノ

※ 暗譜で演奏すること。

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（フーガのみ）
- (2) 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の2曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）
 - (イ) チェルニー 50 番 (Op.740)
 - (ロ) クラマー・ビューロー 60 番
 - (ハ) クレメンティ（タウジヒ編による29の練習曲より選択のこと）
 - (ニ) モシュコフスキ『15の練習曲集』Op.72
 - (ホ) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く）、『3つの新しい練習曲』
- (3) 自由曲（6分程度。ただし **4分以上** であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ (1) (2) (3) の順で演奏すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

ピアノ演奏家コース

※ 暗譜で演奏すること。

次のA課題またはB課題を選択すること。

A 課題

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）

※ 当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。
- (2) 次の(イ)～(ハ)の練習曲集より2曲を選択して演奏する。ただしショパンを必ず1曲含めること。ショパン2曲でも可。
 - (イ) ショパン『練習曲』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く）
 - (ロ) モシュコフスキ『15の練習曲集』Op.72
 - (ハ) モシェレス『24の練習曲集』Op.70（Op.70 No.16、No.20、No.24を除く）
- (3) 自由曲（**10分以上** であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ (1) (2) (3) の順で演奏すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

B 課題

- 自由曲（**20分以上** であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）
- ※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。
- ※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

ピアノ・創作コース

1. ピアノ課題

※ 暗譜で演奏すること。

- (1) J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードまたはフーガ）
- (2) 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の1曲を選択すること。
 - (イ) チェルニー 50 番 (Op.740)
 - (ロ) クラマー・ビューロー 60 番
 - (ハ) クレメンティ（タウジヒ編による29の練習曲より選択のこと）
 - (ニ) モシュコフスキ『15の練習曲集』Op.72
 - (ホ) ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7を除く）、『3つの新しい練習曲』
- (3) 自由曲（6分程度。ただし、**4分以上** であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ (1) (2) (3) の順で演奏すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

2. 創作

自作曲の楽譜を1曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲(1～2分程度)、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

弦楽器

ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8番を演奏する。運指の指定なし。

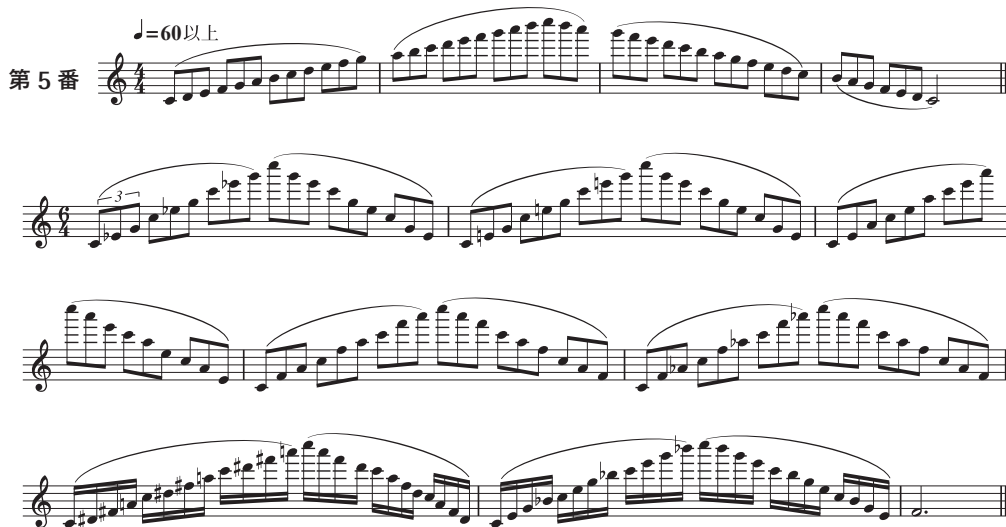
①第5番は冒頭から12小節目までを演奏する。

♩=60以上(スラーとリズムは下記のC-durに準ずる)

②第6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♩=60以上(スラーは16分音符4個以上とする。1小節2弓でも可。下記の第6番参照)

第5番



第6番



※ 譜例の点線のように2拍ずつの場合も可。

(2) 練習曲：クロイツェル、ローデ、ドント、パガニーニなどの練習曲やカプリスの中より任意の1曲を演奏する。繰り返しはなしとする。

(3) 任意の協奏曲1曲より第1楽章(カデンツァを含む)。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜(コピーした楽譜)を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

※ 演奏によりヴィオラ演奏に適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。ヴィオラでの入学に同意する受験者は、入学願書の「ヴィオラへの転専攻(○で囲む)」欄の「同意する」を○で囲むこと。

ヴィオラ

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』) より、任意の長調または短調を選び第 5 番、第 6 番を演奏する。運指、運弓の指定なし

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。

♩ = 60 以上 (スラーとリズムは C-dur に準ずる)

②第 6 番は冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♩ = 60 以上 (スラーは 16 分音符 4 個以上とする)。

(2) 自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜 (コピーした楽譜) を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

※ ヴァイオリンによる受験も可。その場合、出願書類 (受験票) の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

チェロ

(1) 任意の長調、短調、両方の 3 オクターヴの音階 (4 音を一弓で演奏すること)。

(2) 任意のエチュードを 1 曲。

(3) 次の(イ)・(ロ)より 1 つを任意に選択する。

(イ) 任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

(ボエルマン作曲 交響的変奏曲・チャイコフスキー作曲 ロココ変奏曲等を含む)

(ロ) 任意の古典ソナタより第 1 楽章および第 2 楽章

(ただしバッハの無伴奏組曲を除く)

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜 (コピーした楽譜) を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

コントラバス

(1) 任意の調の 2 オクターヴの音階。

(2) 自由曲を 1 曲 (エチュードも可)。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜 (コピーした楽譜) を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

ハープ

(1) ボクサ : 「40 番練習曲」作品 318 から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏はなし。

クラシックギター

(1) カルカッシまたはソルの練習曲の中から任意の 1 曲。

(2) 自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏はなし。

木管楽器

フルート

- (1) 次の音型によって音階および分散和音を演奏すること。

調性、スラーの有無は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。(♩ ≒ 80 ～ 90)

長調



短調



- (2) J. Donjon: Études de Salon から no.1 Elégie (J. ドンジョン『サロンエチュード』から no.1 エレジー)
演奏箇所は当日指定する。

- (3) Carl Stamitz : Concerto G-dur より第 1 楽章

カデンツァは含まない。

演奏箇所は当日指定する。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

※ 伴奏はなし。

オーボエ

- (1) 音階：次の A、B いずれかの音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。

A 例



B 例



- (2) 4 分程度の任意の独奏曲または練習曲。

演奏箇所は当日指定する。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

※ 伴奏はなし。

クラリネット

- (1) 音階：次の音型によって長音階と旋律短音階を演奏すること。♯♭ は3つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) C. Rose : 26 etudes pour la Clarinette (ローズ：26のエチュード) より、—No.3～7。

演奏箇所は当日指定する。

※ 版は自由。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

ファゴット

- (1) 音階：次の音型によって、長音階と短音階を演奏すること。

♯♭ は3つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



- (2) Julius Weissenborn : Bassoon Studies op.8 第1巻Ⅲの中から任意の1曲。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

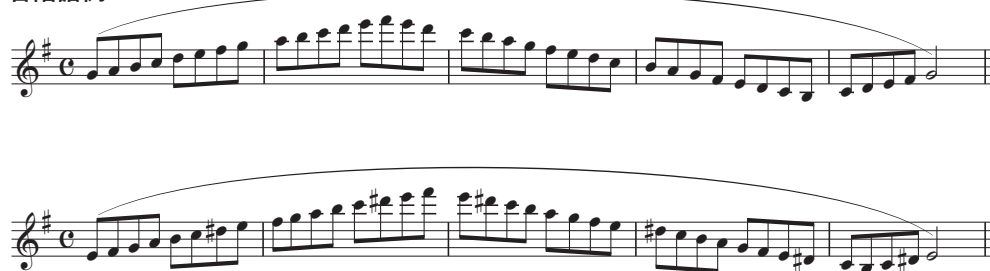
※ 伴奏はなし。

サクソフォーン

アルト・サクソフォーンで演奏すること。

- (1) 音階：長調、短調（和声的短音階）♯♭4つまでの中から、譜例に従い、当日指定された音階をスラーで演奏すること。演奏は暗譜で行うこと。（繰り返しはなし。）

音階譜例



- (2) Guy Lacour : 50 Etudes Faciles Et Progressives pour Saxophone (Billaudot 版) 第1巻、第2巻の50曲より任意の2曲を演奏すること。

※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

※ 伴奏はなし。

金管楽器

《金管楽器共通課題（音階及び分散和音）》

次の例にしたがって演奏すること。（長音階と短音階）

（調性、音域は当日指定。暗譜で演奏すること）



※ 短音階は和声短音階とする。

ホルン

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

トランペット

- (1) Dr. Charles Colin : TRUMPET advanced LIP FLEXIBILITIES VOL.1 より第 3 番 (ETUDE No.1)。演奏は暗譜で行うこと。
- (2) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (3) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 5 番。The Beautiful Snow の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

トロンボーン

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
※ バストロンボーンについては、F-dur（ヘ長調）および f-moll（ヘ短調）とする。

- (2) ・テナー・トロンボーン

Vivaldi Sonata No.1 B-dur I.Largo II.Allegro

・バス・トロンボーン

J. E. Galliard Sonata No.1 a-moll I.Cantabile II.Spritoso e staccato V.Vivace

※ 繰り返しなし。暗譜の必要はない。

※ 出版社の指定なし。

※ バス・トロンボーンについては、1 オクターヴ下げて演奏することも可。

※ 伴奏はなし。

チューバ

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

ユーフォニアム

- (1) 音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
- (2) Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 4 番。Tyrolean Song の主題と変奏曲 I・II（暗譜の必要はない）

※ 伴奏はなし。

気鳴楽器

アコーディオン

- (1) ドメニコ・スカルラッティ『ソナタ』または、J.S. バッハ『インヴェンションとシンフォニア』
BWV 772 ～ BWV 801 より任意の 1 曲
※ 暗譜で演奏すること。
- (2) アコーディオンのためのオリジナル作品より任意の 1 曲
※ 暗譜の必要はない。

打楽器

小太鼓またはマリンバで受験すること（願書の志望専攻名欄に打楽器（小太鼓）、打楽器（マリンバ）のいずれかを記入すること）。

小 太 鼓

- (1) 二つ打
- (2) 任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

マリンバ

- (1) 2 オクターヴの長音階、短音階、分散和音を譜例の音型で演奏すること（調性は当日指定）。

♩=110 ca.

♩=110 ca.

♩=110 ca.

♩=110 ca.

- (2) 任意の独奏曲 1 曲（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

■作 曲 専 攻

- (1) 和声：転調および非和声音を含まないバス課題
- (2) 作曲：与えられた動機による楽曲の創作
※ (1) (2) 合わせて **3 時間**
- (3) 面接：作曲についての簡単な内容

③ 音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）

1. 一般学科

- (1) 英語 ※ ただし、実用英語技能検定準 2 級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。
- (2) 国語

2. 楽典

楽典一般

3. ソルフェージュ

「コールユーブンゲン」または「聴音」より 1 科目選択

- ・コールユーブンゲン

第 1 巻の原書番号 No.24 ～ No.41 の中から当日 1 曲指定する。

※ 移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可。

- ・聴音

単旋律聴音（8 小節程度）2 題

4. 面接

5. 実技

声楽、ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管打楽器）、作曲の中から 1 つを選択する。

※ 各課題詳細は下記を参照のこと。

【実技課題曲】

声 楽

(1) (2) の両方から選曲し演奏時間は合計 6 分以内とする。

(1) 『コンコーネ 50 番』より第 1 番～第 10 番までの中から任意の 1 曲を選ぶこと。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

(2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。

※ 歌詞は原語で、暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みの無い鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

ピ ア ノ

自由曲（5 分程度。複数曲可）

※ 暗譜で演奏すること。

※ 複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

弦 楽 器

・ヴァイオリンは自由曲（コンチェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可。

・その他の弦楽器は特に指定なし（自由曲）

※ 暗譜で演奏すること。

※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

管打楽器（アコーディオンは除く）

いずれの楽器も練習曲を含む自由曲とする。演奏時間は 5 分以内。

※ 暗譜の必要はない。伴奏はなし。

作曲

- (1) 指定された「与えられた動機による楽曲の創作」(3 時間以内)。
- (2) 面接 (作曲についての簡単な内容)

4 音楽総合コース・セルフデザインクラス

1. 一般学科

- (1) 英語 ※ ただし、実用英語技能検定準 2 級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。
- (2) 国語

2. 作文

試験当日に指定されるテーマについて、自分の考えを述べる。
(原稿用紙に600字～800字で書くこと。)

3. 自己PR

自己PRは当日面接の時に行うか、前日までに動画またはPDFで提出すること。内容については問わない。自らの得意なことや、やってみたいことなどを、自分なりの表現でアピールすること。

4. 面接

5 併願の試験科目について

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」および音楽総合コース以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻または音楽総合コース(セルフデザインクラスを除く)を併願することができる。また、第二志望のみの受験は認めない。

- ・ 併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に[声楽]または[音楽総合コース]と明記すること。
- ・ 器楽専攻「ピアノ」「ピアノ・創作コース」および作曲専攻以外を第一志望とする者が声楽専攻を併願する場合は、専攻別試験科目(声楽)のほかに共通試験科目の副科ピアノを受験しなければならない。

【海外帰国子女特別入学試験】

《入学試験科目と課題曲》

1 共通試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース）

* 音楽総合コース・セルフデザインクラスは除く。セルフデザインクラスの試験科目は3を参照。

1. 楽 典

楽典一般

2. 聴 音

単旋律聴音（8小節程度）……各専攻共通2題

3. 面 接

受験生および保護者（対面式で日本語）

※ 一般学科、コールユーブンゲン、副科ピアノの試験は課さない。

2 専攻別試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース）

■声 楽 専 攻

〔一般入学試験〕専攻別試験科目の課題曲（P.12）と同じ。

■器 楽 専 攻（鍵盤楽器、弦楽器、木管楽器、金管楽器、気鳴楽器、打楽器）

〔一般入学試験〕専攻別試験科目の課題曲（P.13～P.19）と同じ。

■作 曲 専 攻

〔一般入学試験〕専攻別試験科目の課題曲（P.19）と同じ。

■音 楽 総 合 コ ー ス（セルフデザインクラスを除く）

声楽、ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管打楽器）、作曲の中から1つを選択する。

※ 各課題詳細は下記を参照のこと。

【実技課題曲】

声 楽

(1) (2) の両方から選曲し演奏時間は合計6分以内とする。

(1) 『コンコーネ 50 番』より第1番～第10番までの中から任意の1曲を選ぶこと。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜に受験者氏名を記入すること。

(2) 日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を1曲。

※ 暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

ピ ア ノ

自由曲（5分程度・複数曲可）

※ 暗譜で演奏すること。

※ 複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

弦 楽 器

- ・ヴァイオリンは自由曲（コンチェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可。
- ・その他の弦楽器は特に指定なし（自由曲）
 - ※ 暗譜で演奏すること。
 - ※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
 - ※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
 - ※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

管打楽器（アコーディオンは除く）

- いずれの楽器も練習曲を含む自由曲とする。演奏時間は 5分以内。
- ※ 暗譜の必要はない。伴奏はなし。

作 曲

- (1) 指定された「与えられた動機による楽曲の創作」（3時間以内）。
- (2) 面接（作曲についての簡単な内容）

3 音楽総合コース・セルフデザインクラス

1. 作 文

試験当日に指定されるテーマについて、自分の考えを述べる。
(原稿用紙に600字～800字で書くこと。)

2. 自己 PR

自己 PR は当日面接の時に言うか、前日までに動画または PDF で提出すること。
内容については問わない。自らの得意なことや、やってみたいことなどを、自分なりの表現でアピールすること。

3. 面 接

4 受験方式

国内在住者および国外在住者どちらも原則「対面式」で実施する。

5 併願について

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」および音楽総合コース以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻または音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）を併願することができる。
また、第二志望のみの受験は認めない。

- ・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に「声楽」または「音楽総合コース」と明記すること。
- ・声楽専攻を併願する場合は、声楽専攻の専攻別試験科目も受験しなければならない。

【外国人特別入学試験】

《入学試験科目と課題曲》

* 音楽総合コース、音楽総合コース・セルフデザインクラスは募集しません。

1 共通試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

1. 楽 典

楽典一般

2. 聴 音

単旋律聴音（8 小節程度）……各専攻共通 2 題

3. 面 接

受験生（対面式で日本語）

保護者（対面式で日本語か英語）

※ 一般学科、コールユーブンゲン、副科ピアノの試験は課さない。

2 専攻別試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

■声 楽 専 攻

〔一般入学試験〕専攻別試験科目の課題曲（P.12）と同じ。

■器 楽 専 攻（鍵盤楽器、弦楽器、木管楽器、金管楽器、気鳴楽器、打楽器）

〔一般入学試験〕専攻別試験科目の課題曲（P.13 ～ P.19）と同じ。

■作 曲 専 攻

〔一般入学試験〕専攻別試験科目の課題曲（P.19）と同じ。

3 受験方式

国内在住者および国外在住者ともに原則「対面式」で実施する。

4 併願について

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻を併願することができる。

また、第二志望のみの受験は認めない。

・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に〔声楽〕と明記すること。

・声楽専攻を併願する場合は、声楽専攻の専攻別試験科目も受験しなければならない。

TCM

Tokyo College of Music High School

東京音楽大学付属高等学校

〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5

T. 03-3988-6214

F. 03-3982-9273

fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp

<http://tcm-koko.ed.jp>